

ビーチバレーボール競技規則 2010年度版より（財 日本バレーボール協会）

第1章 施設と用具

第1条 競技場 第1項 規格

コートは、16×8mの広さをもつ長方形であって、最低3mの幅のフリー・ゾーンによって囲まれている。

第2条 ネットおよび支柱 第1項 ネット

ネットは、長さ8.5m、幅1m（±3cm）でコートのセンター上に垂直に強く張られる。

第3条 ボール 第1項 ボールの特性

色：明るい色（オレンジ・イエロー・ピンク・ホワイト等） 内圧：0.175～0.225kg/cm²

第2章 競技参加者

第5条 競技者の服装 第1項 服装

競技者の服装はショートパンツまたは水着を用い、シャツはジャージーまたは「タンクトップ」でもよいが、大会規定で定められている場合はこれに従う。また、帽子をかぶってもよい。

第3章 得点と勝敗の決定

第7条 試合形式 第1項 試合の勝者

1 試合は2セットを取った方のチームがその試合の勝者となる。

*付則の2

*付則の2（国内の大会に適用される特別競技規則）

1 セットマッチのときは、最小限2点差をつけて25点先取したチームがその試合の勝者となる。

2 4対2の同点になった場合は、どちらかのチームが2点リードするまで競技は続行される。

ただし27点を先取したチームが、1点差だけでその試合の勝者となる。

第5章 プレーの動作

第13条 ボールをプレーすること 第4項 打球の特性

2 競技者はボールをヒットしなければならない。つかんだり、投げたりしてはならない。そのボールはどの方向に跳ね返ってもよい。

例外：

（1）強打されたスパイクボールをオーバー・ハンドでレシーブするとき、一瞬ボールが指に停止しても反則とはならない。

3 ボールは身体への接触が同時であれば、いくつかの箇所にあたっても反則ではない。

例外：

（2）チームにおける第1回目のプレーでは、それがオーバー・ハンドで指を用いたプレーでない限り（例外：第13条第4項2 例外（1））、ボールが体の2箇所以上に連続して当たっても一つの動作中のものであれば許される。

第15条 ネット付近の競技者 第2項 相手方の空間、コートおよびフリー・ゾーンへの侵入
相手方への妨害とならなければ、相手方の空間、コートおよびフリー・ゾーンへ侵入してもよい。

第16条 サービス 第5項 サービスの実行

3 サーバーは、主審がサービスの許可の吹笛後、5秒以内にボールを打たなければならない。

第17条 アタック・ヒット 第2項 アタック・ヒットの反則

競技者が：

3 ティップ・プレーでアタック・ヒットを完了したとき。

5 オーバー・ハンド・パスで、両肩に対し直角でない方向にアタック・ヒットを完了したとき。
ただし、味方競技者へボールをセット・アップした場合は例外とする。

第18条 ブロック 第4項 ブロックのボールへの接触

1 ブロックのプレーは、チームの1回のプレーとして数えられる。その後は、さらに2回のプレーができる。

第6章 中断と遅延

第19条 タイム・アウト 第2項 タイム・アウトの回数

それぞれのチームに認められるタイム・アウトは、1セットにつき1回である。

第22条 コートの交替とセット間の中断 第1項 コートの交替

チームは得点合計が7点（第1、第2セット）および5点（第3セット）の倍数になるたびにコートを交替する。

*付則の3

*付則の3（国内の大会に適用される特別競技規則）

1 セット・マッチのときは、両チームの得点合計が10点の倍数（10、20、30、40、50）になるたびにコートを交替する。